

# 副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	市民部 <span style="float: right;">(スポーツ振興課)</span>	
2 協議事項 (案件名)	大型スポーツイベント等誘致事業について	
3 背景・現状	<p>2016.6.ブラジルのホストタウンに登録                  ※ホストタウンとは、多くの選手・観客の来訪を契機に、事前キャンプ等を通じ大会参加国との人的・経済的・文化的な交流に取り組むことで、オリパラの開催効果を全国に波及させ、地域の活性化等を推進することを目的としている。</p> <p>※これまでの多文化共生の歴史を舞台に、浜松市はブラジルを対象国とした。</p> <p>2017.6.ブラジルオリンピック委員会との覚書締結（浜松）                  2017.8.ブラジルパラリンピック委員会との覚書締結（サンパウロ）                  ※ブラジル選手団が本市でキャンプを張ることは決まった。現在は、キャンプ誘致のロビー活動から具体的な受け入れの計画が必要であり、練習会場や受け入れ体制などの環境づくりの検討が急がれる。</p> <p>2017.9.受け入れ体制の検討に向けて庁内連携会議を立ち上げた。                  2017.9.【9月議会：自民党代表質問 鳥井議員】多数のブラジル選手団受け入れに向けて、オール浜松で対応する官民連携組織を立ち上げると回答。</p>	
4 検討経過・課題	<p>2017.9月に立ち上げた庁内連携会議において、官民連携組織の立ち上げに向けて準備を進めている。</p> <p>目指す姿（案）                  日本人市民もブラジル人市民も心をひとつに。                  浜松市民は、ブラジル人選手に心から声援を送る。</p> <p>目指す姿実現に向けた目的・課題（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジル選手団を確実に受け入れるために</li> <li>・浜松でオリパラレガシーを根付かせるために</li> <li>・浜松の魅力をアピールするために</li> </ul> <p>※課題に対応した事業を推進していく。</p>	
5-1 方向性の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジル選手団の誘致はスポーツコミッション推進大会に位置付けられるもので、事業の必要性を明確にし、向かうべき目標を掲げることが求められる。</li> <li>・本事業の目指す姿を共有し、ブラジルとの交流に拍車をかけたい。</li> <li>・目指す姿の実現に向けて、官民連携組織を立ち上げるとともに、ブラジル選手団受け入れに向け、事業を推進していく。</li> </ul>	
5-2 論点 方向性の決定 に向け議論 する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジル選手団受け入れに係る2020年までの全体計画について</li> <li>・求める政策効果とそれに対する事業構成について</li> </ul>	
6 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める</li> <li><input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める</li> <li><input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul>	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費等については所管部署と調整すること。</li> </ul>
7 その他		